

(第1号様式)

平成26年4月17日

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立 弥栄 高等学校長

平成26年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
1 教育課程の工夫・改善を継続的に行いながら、単位制専門学科である本校の特色を活かした専門性の高い教育内容を提供する。	<p>① 新学習指導要領の完成年度に向けて、教育課程の見直しを継続的に行い、本校の生徒に最適化したカリキュラムを目指す。大学・研究機関との連携及び特別講師の招聘などをさらに推進し、その成果を日常の教育活動に定着させていく。</p> <p>② 生徒の主体性をさらに伸長させ、本校の教育方針である TOP 教育 (Thinking Organization Presentation「考えをめぐらせ、知識を組み立て、それをきちんと伝えることのできる能力を育てる教育」) の推進に向け、各学科の指導や行事における課題を明らかにし、改善するための PDCA サイクルを確立する。海外姉妹校交流や研修旅行などの内容をさらに深化させるとともに、国際交流の取組を発展させる。</p> <p>③ 海外姉妹校交流や研修旅行などの内容をさらに深化させるとともに、国際交流の取組を発展させる。</p>	<p>① 生徒一人ひとりの学習ニーズを満たすとともに発展的な学力の育成が可能となる教育課程が編成できたか。また、外部教育機関及び外部人材を十分に活用するとともに、その成果を踏まえて日常の教育活動の質的向上を実現することができたか。</p> <p>② 学力やコミュニケーション能力など生徒の様々な能力の実態を正しく把握した上で課題を整理するとともに、能力向上に向けた具体的な手立てを確立できたか。また、課題の設定、指導の実施、成果の検証、新たな課題設定と手立ての確立の作業を年間計画に位置付けるとともに継続させる体制を整備することができたか。</p> <p>③ 豊かな国際性や高度な専門性の育成に向け、海外姉妹校交流及び研修旅行等の取組を深化させることにより、十分な成果をあげることができたか。</p>

<p>2 生徒の状況を的確に把握し、個に応じた進路実現を支援するとともに、教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>① 入学時から積み重ねた各種データの分析を進めるとともに、様々な入試制度の研究を行い、全学科の生徒に対し適切な進路指導が行えるよう、教員研修を強化する。</p> <p>② 担任、教育相談コーディネーター、各学科に配属した教育相談担当者等による組織的な支援体制を活用し、早期の対応を確立する。また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ対策等検討委員会」を中心に、いじめの防止を図る。</p>	<p>① 生徒に関する各種データを正しく分析するとともに、その結果を進路指導に適切に反映するための研修実施体制を構築し、実施することができたか。</p> <p>② 教育相談体制の充実に向け、生徒が抱える課題の早期発見・早期解決のための組織的な支援体制を整備するとともに、効果的に対応することができたか。また、いじめ防止に向け、安全・安心な学校生活を保障する体制を整備することができたか。</p>
<p>3 本校の生徒に向けた授業の最適化をめざし、授業研究に努める。また、様々な学習機会の提供に努め、確かな学力の向上を図る。</p>	<p>① 予習復習や家庭学習の指導をはじめ補習・講習等可能な限りの支援を行い、学習習慣の確立と、確かな学力の向上を図る。学校と家庭での学習で進学希望が実現できるような体制を整える。</p> <p>② 90分授業の活用、言語活動の充実などをテーマとした授業研究を行い、本校の生徒に向けた授業の最適化を図る。授業の公開・教材の共有化を進め、各教科でより効果的な授業実践を探求する。</p>	<p>① 確かな学力の向上に向け、生徒一人ひとりの学習ニーズ及び希望する進路に対応したきめ細かな学習指導を、全教職員により適切に実施することができたか。また、その取組により生徒の学習習慣を確立させることができたか。</p> <p>② 授業の最適化に向け、教科としての目標を明確にした上で、教職員一人ひとりが90分授業を効果的に展開するとともに、生徒の言語活動を充実させることができたか。また、授業公開及び教材の共有化などを通じて、教科としての授業を推進することができたか。</p>

<p>4 各専門学科に応じたキャリア教育を実践するとともに、生徒の生活全般を指導し、自律自尊の人間の育成を目指す。</p>	<p>① 各専門学科ごとの「総合学習」プログラムを計画に沿って実行し、さらに次年度の改善と発展につなげる。</p> <p>② それぞれの学科の特性に対応した「キャリア教育実践プログラム」を深化させた「進路学習シラバス」を実行しながら、生徒のキャリア発達を支援する。</p> <p>③ あいさつの励行、通学時のマナー等基本的な生活習慣が、校内だけでなく広く生活一般において確立されるよう意識啓発を図る。</p> <p>④ 学校行事、学科行事、部活動、生徒活動等幅広い教育活動を展開し、四学科の交流を図るなかで、他者理解、自己肯定感を高め、豊かな人間性、社会性を育む。</p> <p>⑤ 生徒自身が先頭に立ち、校内美化、分別、節電の呼びかけを行うことで、生徒の環境への意識を高める。</p>	<p>① 各専門学科において「総合学習」プログラムを計画的に実施できたか。また、今年度の成果を踏まえ次年度に向けた課題の整理と改善の手立てを構築できたか。</p> <p>② 各専門学科において「進路学習シラバス」に基づいたキャリア教育を実施することで、生徒のキャリア発達を支援することができたか。</p> <p>③ 自律自尊の人間育成に向け、基本的な生活習慣の確立のための指導を徹底することで、規範意識の醸成を実現することができたか。</p> <p>④ 豊かな人間性及び社会性の育成に向け、特別活動及び部活動の充実などを通じて学科間の交流を促進することにより、生徒の他者理解や自己肯定感を向上させることができたか。</p> <p>⑤ 生徒の環境保護の意識を向上させるため、主体的に環境保護のための活動に参加するよう指導できたか。</p>
---	---	--

<p>5 地域との連携を深め、開かれた学校づくりを行うとともに、専門学科で学んだ成果を地域に還元することの重要性を、生徒に意識啓発する。</p>	<p>① 部活動やコンサート活動、出前授業、また、小・中学校との連携をとおして、生徒が地域住民や異校種の児童・生徒と触れ合う機会を増やし、専門学科で学んだ成果を地域に還元する生徒の意識を啓発する。部活動やコンサート活動、出前授業、また、小・中学校との連携をとおして、生徒が地域住民や異校種の児童・生徒と触れ合う機会を増やし、専門学科で学んだ成果を地域に還元する生徒の意識を啓発する。</p> <p>② HP の掲載内容や更新の迅速性を高める。また、学校説明会をより充実させる。</p> <p>③ オープンスクール及び体験授業の実施体制を一層充実させることにより、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>① 生徒に学習成果を地域に還元することの重要性を認識させるため、地域住民や異校種の児童・生徒と触れ合う機会を十分に提供することで、生徒の意識を向上させることができたか。</p> <p>② 開かれた学校づくりの推進に向け、学校説明会の実施体制や HP の内容の充実を実現することができたか。</p> <p>③ 開かれた学校づくりを推進するため、来校者の視点に立ってオープンスクール及び体験授業の実施体制を充実させることができたか。</p>
<p>6 教職員の資質と能力を高めるとともに、安心し信頼される学校の管理体制を構築し、維持する。</p>	<p>① 安全教育を進め、生徒、職員の防災訓練を徹底する。生徒用の防災マニュアルを整備するとともに、災害時の備蓄を確保する。</p> <p>② キャリア研修、人権研修や事故防止研修など職員研修を推進する。</p>	<p>① 防災教育及び安全教育の充実に向け、生徒用防災マニュアルの整備、防災訓練の充実及び災害時の備蓄の確保を実現することができたか。</p> <p>② 安心し信頼される学校管理体制の整備に向け、一人ひとりの教職員が主体的に各教員研修に取り組むことができたか。</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など 教育目標：生徒の個性を啓発し、心豊かで、世界に開かれた視野を持つ若人を育成する。 教育方針：コース制・専門学科による多彩な教育活動を展開して、次の教育方針の徹底を期する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個性の伸長：多彩で、きめ細やかな指導を行い、生徒の一人ひとりの自主性、創造性の育成を図る。 2 連帯感と協調の精神の育成：多種多様な能力や個性の交流を通じて、自他を敬愛する精神を培い、思いやりの心を育成する。 3 気力・体力の充実：困難に負けない気力・体力を養い、ねばり強く健全な精神を鍛えるよう生活指導の徹底を図る。 4 豊かな情操の育成：恵まれた環境・施設を生かし、うるおいのある学園生活を送れるよう努める。 5 国際理解教育の推進：国際社会に対応するため、国際理解教育の推進を図り、新時代に生きる国際人の育成に努める。 		